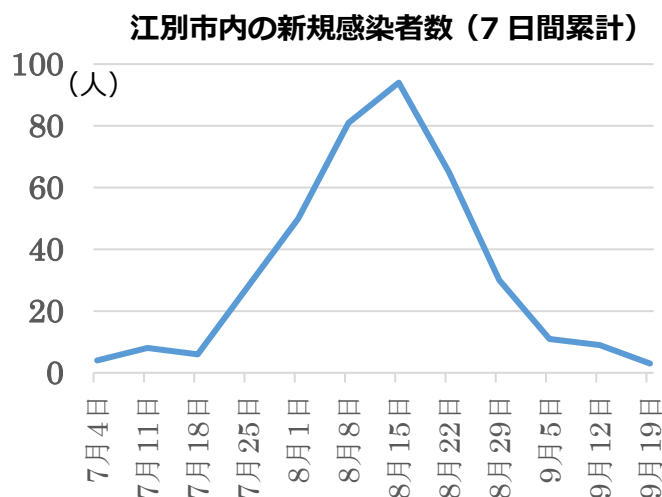


岡英彦の議会レポート

□ 新型コロナウイルス第5波



2020年1月に新型コロナウイルスの感染者が国内で初確認されて以降、断続的に流行の波が起こり、9月末時点では、第5波までが観測されています。北海道においても、2021年4月から6月にかけての第4波、7月から9月にかけての第5波では、多くの感染者が確認されました。

昨年来、北海道内の各市町村における毎日の新型コロナ新規感染者数は、公表に同意された方のみが発表されていました。この発表方法では、江別市を含む多くの市において、市ごとの正確な人数が分からないため、実態をつかめない状態が続いていましたが、6/20より1週間に1回、市町村ごとの7日間累計の感染者数が発表されることとなりました。

これにより市内での第5波の流行を正確にとらえることができましたが、一方で、毎日の発表がなくなったため、緊張感を持ちにくくなったとの意見も出ています。一定程度の人口規模の市については、保健所設置市の小樽市のように、毎日の発表が望ましいと考えられますので、引き続き、発表方法の改善を訴えていきたいと思います。

第5波では、8/2にまん延防止等重点措置が出され、8/14から江別市も措置区域に指定され、飲食店等への時短要請が出されました。その後、8/27に緊急事態宣言が出され、江別市も特定措置区域に指定され、9/30をもって宣言が解除されました。

江別市における新規感染者数のピークは8/15～8/21の週の94人（10万人あたり78.6人）となりましたが、これは第4波における石狩地方における10万人あたり129人のピークよりも少ない人数でした。道内においては、第5波は第4波よりも感染者が約1割減少し、死者数は約十分の一に減少しています。

また、ピーク以降は急激に感染者数が減少しており、8/27の緊急事態宣言発出の段階で既に減少傾向が明らかであったため、緊急事態宣言の効果には疑問が残る結果になっています。

□ ワクチン接種率7割超える

5月から本格的に開始されたワクチン接種は、接種開始当初は予約の電話が殺到するなどの大きな混乱が生じましたが、その後、年齢ごとに予約の開始時期をずらすなどの対応がとられ、また、職域接種でも多くの市民が接種を行うことができました。これらの取り組みに加え、比較的早い段階でワクチンの在庫の確保を行えたことなどもあり、全国と比較しても早いペースでワクチン接種を進めることができています。

9月末時点でのワクチン接種の状況は、1回目接種が85,893人、接種対象者の77.2%、2回目接種が75,752人、接種対象者の63.4%となっています。

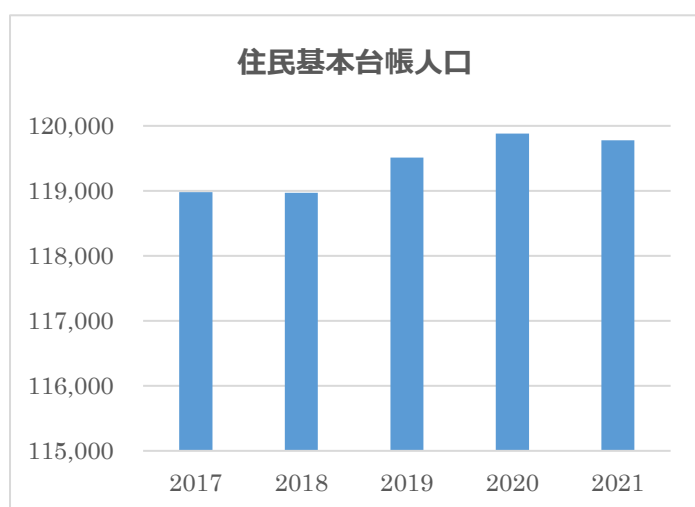
□ 国勢調査人口 12 万人を維持

2020 年に実施された国勢調査における市町村の総人口が発表されました。江別市の人口は、12 万 1145 人となり、前回 2015 年の 12 万 636 人と比較して 509 人の増となりました。

前回 2015 年の人口をもとに計算された 2020 年の人口推計は 11 万 6429 人となっていました。が、約 5 千人上振れし 12 万人を維持しています。

2016 年以降、転入者数が転出者数を上回る社会増が続いていることが、人口推計よりも人口が増えている要因の 1 つと考えられます。

□ 2021 年の人口は 3 年振り減



住民基本台帳をもとにした 10/1 を基準とする毎年の市の人口は、2019 年・2020 年と 2 年連続して増加が続いていましたが、2021 年は 11 万 9777 人、前年比 106 人減となり、3 年振りに減少に転じました。

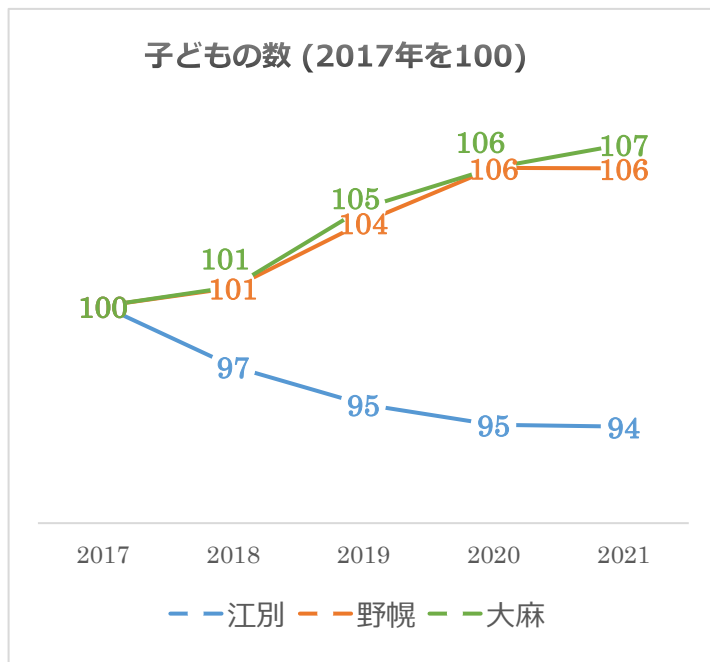
転入者数が転出数を上回る社会増の傾向は変わっていませんが、2019 年と 2020 年は特に転入者が多かったため、死亡者数と出生数の差である自然減を社会増が上回り人口増となっていました。2021 年は過去 2 年と比較すると、転入者数が少なく推移しているため、自然減が社会増を上回り人口減となっています。

※ 住民基本台帳による人口は住民票に登録されている人数、国勢調査による人口は実際に住んでいる人数となります。江別市には、住民票を移さない学生が多いと想定されており、国勢調査人口の方が多くなる傾向があります。

□ 子どもの数は 3 年連続増

年少人口と言われる 0～14 歳の子どもの数は、1 万 3606 人となり、前年を 28 人上回り、2019 年から 3 年連続の増加となりました。

江別地区（前年比 5 人減）においては長らく続いている減少の下げ止まり、野幌地区においては過去 2 年続いていた 100 人以上の急増のストップ（前年比 1 人減）、大麻地区（前年比 34 人増）においては 5 年連続の増加といった傾向が見て取れます。



江別を持続可能な地域とするためには、人口が減少していく状況にあっても、ここ数年の動きのように、一定数の子どもの数を維持するように努めることは非常に重要なポイントです。

ここ数年、市内の基準地価が上がっていることが示すように、江別での住宅需要は底堅いものがあります。区画整理事業のような大規模な宅地造成は望めませんし、これ以上の郊外への市街地拡大は行うべきではありませんが、既存の市街地の空地・空き家の有効利用の重要性は益々高まっていると言えます。

編集・発行 岡 英彦

〒069-0811 江別市錦町 2-3-102
電話：011-384-2705 FAX：050-3457-5095
メール：info@ebetu.jp
ブログ：www.ebetu.jp